

# 五分館だより

第79号

豊丘村公民館  
第五分館  
編集／社会部  
印刷／燦プランニング

## 堀越の今日

平成24年3月現在  
戸数 82戸  
人口 322人  
(男155 女167)

## ボランティアクラブ食事会

ボランティアの会では、年に一度の食事会を堀越区民会館で行いました。手作り弁当、高森のなでしこ会の皆さんによる踊り、マジックで地元の高齢者の方々に楽しんでいただきました。



ボランティアクラブでは年に一度の食事会を三月八日行いました。

八十才以上の方二十六名と、来賓として区長さん、社協の大沢会長さんをお招きして行いました。会が始まる前には保健婦の大倉さんに希望者が血圧を測って頂きました。また食事は協会の三浦さんの指導でさんまの蒲焼き、野菜のごま和え、味炊きおこわを作り、サラダ、つけもの、フルーツなど添えて、ささやかな手作り弁当でもてなしました。途中、高森のなでしこ会の方達による、マジック、踊りで会を盛り上げて頂きました。

## 分館長退任の挨拶

宮下 茂

平成二十年から二期4年間分館長を勤めさせて頂きました。前任者の堀本さんから引き継いだ時は不安でいっぱいでしたが二人の主事、役員の方のサポートのおかげでこの大役を無事果たす事ができました。

任期一年目の秋、分館では文化祭を計画し準備も着々と進んでいましたが、八月の降雹被害の影響で中止になってしまいました。役員主事・分館長の十八年で始めての事でした。この様な被害があったことは今でも残念でなりません。分館長・主事会に出席して他の分館長さんの話を聞くと納涼祭・運動会の時、テント・机・イス等を本館から借りている様ですが第五分館ではそうゆう物は全部揃っているのだから借りた事はありません。その意味では第五分館は非常にめづまれていると思います。

又、当地区ははじめ山間地区では人数が少ないため役員を決めるのに非常に苦労しています。お願いに伺った時はご協力をお願いしました。さて、次年度は新しい分館長に福島さんに決まりました。私の時以上に区民の皆様への御理解と御協力をお願い申し上げます。第五分館が益々発展しますことを祈り申し上げます。長い間ほんとうにありがとうございました。紙面をお借りしまして退任の挨拶と致します。

した。地域の火先輩の方達に大変喜んで頂き嬉しく思います。

## 火災消火に

### 感謝と御礼

二月二十一日昼頃胡芝旧道沿いにおいて、焚き火から飛び火した火が枯れ草に燃え移り火災となりました。火災放送ではすぐ場所が分からず戸惑いましたが、なんと場所が分かり消火栓付近の竹の片づけをしていたところへ、消防署の車が着き消火活動に入りました。

旧道付近はとにかく水のないところであり、消防も貯水池から中継し消火活動をしていただきました。幸いにも大事にいらす消火しました。多くの人にお世話になりました。大変有り難うございました。

今後は、自治会内で水の確保等話し合い、もしもの



胡芝自治会

ときに備えたいと思います。寒い中貯水池の水の保水を担当しました消防の方大変ご苦労様でした。以後このようなことのないよう自治会内で十分に気を付けていきたいと思ひます。

## 堀越簡易水道布設替工事

(その2)

現場代理人 神稲建設 江崎

皆さんこんにちは、神稲建設の江崎です。簡易水道布設替工事も大詰めに来ました。当初予定の工事に関しては、本線関係が完了し、現在、舗装工事を進めています。また、各家庭への引き込みも順次進めており、新しい配管での給水切り替えも終えようとしています。尚、一部追加があり、後期が三月十七日から三月末に変更されています。増工部分は、区民会館北側及び

であります。これまで同様のご理解とご協力を更にお願ひするところです。分館報への掲載はこれで最後となります。この記事をご覧頂ける頃には工事も完了していることと思ひます。ご協力いただきました堀越区役員ならびに区民の皆様へ、この場をお借りしまして御礼申し上げます。



# 高森町瑠璃寺九百年祭

今回は村外の情報を掲載してみようと思います。お隣は高森町瑠璃寺の情報です。

天台宗 大嶋山 瑠璃寺  
(山号) 大嶋山(だいとうざん)  
(寺号) 瑠璃寺(るりじ)  
(創建) 天永三年(一二二二年)  
(本尊) 薬師瑠璃光如来三尊佛  
(国の重要文化財)  
(札所) 中部四十九薬師

比叡山竹林院の観音僧都(かんよそうず)がこの地に入り、仁王山の間の洞(あいのほら)の樹間に出現した薬師如来にいたく感激し、天永三年(一二二二年)に創建された古刹です。

伊那谷に拝む平安仏の寺、源頼朝公祈願寺、上杉謙信公戦勝祈願の寺、武田信玄公仏道修行の寺、徳川家御加護の寺として知られている。

資料によると昨年二〇一一年に、瑠璃寺開基九〇〇年を迎えたそう、これを祈念して今年一一二二年の四月に九〇〇年祭が催されるとのこと。

境内には、本堂・観音堂・阿弥陀堂・地藏堂・宝蔵庫・客殿が建立されており、瑠璃寺の本尊 薬師瑠璃光如来三尊佛(国の重要文化財)の他に、観音堂の本尊 聖観世音菩薩(県宝)、地藏菩薩、大日如来、阿弥陀如来が収められています。尚、二つの本尊は、二〇一

二年の四月(開基九百年ご開帳)までお扉が封印されています。

また、一一九七年、源頼朝公が幕府の祈願寺に選定した折、七五〇石の寺領並びに愛育した桜苗三株(枝垂桜 地主桜 彼岸桜)が寄進されており、その一本枝垂れ桜が、昭和十三年長野県天然記念物に指定されておられ、春桜の季節にはその幹の太さとは裏腹に、繊細なこぶりの花が天から降り注ぐように垂れ下がる様は圧巻です。

なお、この獅子舞は四月第二の土日に舞われ、六十年一度目に行われる瑠璃寺の本尊、薬師三尊のご開帳、また三十年に一度の中開帳の折には、特別に宇天王による獅子乗りという儀式が演じられる・とか。

今回、九〇〇年祭に併せ、新たな試みとして「陵王の舞」が復活されるという情報もあり、見所満載の行事となる予感。

## 【九〇〇年祭の詳細】

(期間) 平成二十四年四月一日(日)～十五日(日)  
(開扉法要) 四月一日(日)  
(中日法要) 四月八日(日)  
(大般若法要稚児行列(結願法要) 四月十五日(日)(お参り)

期間中 午前九時～午後四時まで 御開扉 瑠璃光殿本尊薬師三尊(重文)

地藏菩薩 聖観世音菩薩  
(県宝) 観音堂

阿弥陀堂 阿弥陀三尊  
客殿 大日如来  
不動明王  
本堂 前立ち薬師



四天王 十二神将  
(獅子舞)  
四月一日・八日・十五日の各日曜日

県民俗無形文化財  
瑠璃寺獅子舞と招待団体の奉納舞

(イベント)  
四月一日・八日・十五日の各日曜日  
境内で手づくり市が開催以上、この春の村外情報でした。



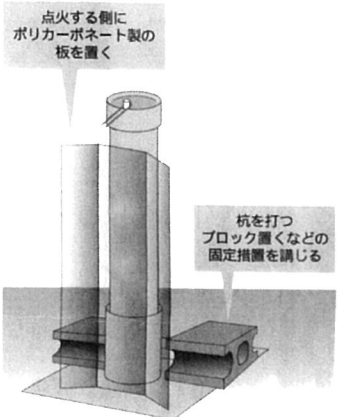
## 煙火消費打上従事者講習会に参加して

福島 昭 治

一月二十九日に飯伊地域地場産業振興センター二階にて、打上従事者の講習会に第五分館代表で昨年に続き参加してまいりました。

毎年講習会を受講しないと、資格が失効してしまい、約六十名位の人が講習を受けました。まずアルプス煙火の松下さんより、煙火消費のための講義を受けました。内容は、実施計画として、安全な距離。申請、危険区域、そして煙火消費従事者の服事項として、酒気の禁止、火気の使用禁止、服装、保安手帳の携帯、ヘルメットの着用、など項目別に説明がありました。次は、DVDで煙火

打上マニュアルの説明、実施などをみて勉強しました。講義が終了し今度は、地場センター横の公園にて、実技三号玉打上げ講習会を行いました。二十名位づつ三班に分かれて、アルプス煙火の人達から講習を受けました。火薬に火をつける方法と、電気点火する方法と、二通りの方法を実技講習として受けました。



午前中という短い時間ではありましたが、受講者全員の方々が、それぞれに一生懸命に講義を受け、実技をし、それぞれに理解できたと感じます。花火の魅力や知識をしつかりと理解し、煙火消費中の災害を防止し、

## 胡芝会所に ジュース自販機設置

二月十五日に胡芝会所にジュースの自動販売機が設置されました。夏の作業の休み時、朝の出勤時のコーヒー等利用して頂ければと思います。



## 黒谷箋

新しいことが始まる春、春(はる)は四季の一つとされる。新暦(太陽暦)では立春から立夏までの一、二、三月を言うそう。

春(ハル)の語源には、○万物のハル(発)時候であるから、○草木の芽のハル(張)時であるからとする説。○春は晴天が多くなるのでハル(晴)○年が開ける意でハル(開)○畑を耕すハル(墾)ハル(治)の意とするなどさまざまある。語源はどうあれ、春は区切りの季節であり、新しいことが始まる季節である。

私たちは、自然の生気が動き出すこの季節を待ち、新しいことの始まりの季節としてきた。特に農耕文化を基盤とする日本では大切な季節と言われてきた。今年の春も、新しい旅立ちをむかえる人や新しい環境で自分作りがスタートする人など例年と変わりない。農作業は、冬の寒さに耐えてきた草木が芽ぶき忙しい日々をむかえる。

三・一一東日本大地震から一年、今までの春と違う春が東北にある。テレビなどで震災の特集が報道されるが、時は人の心を変え、想いも変えていく。震災から一年後の今、自分の心に「三・一一」をどう考え、何を思っているか、今年の春を感じながら問い直してみたい。

三澤 学